

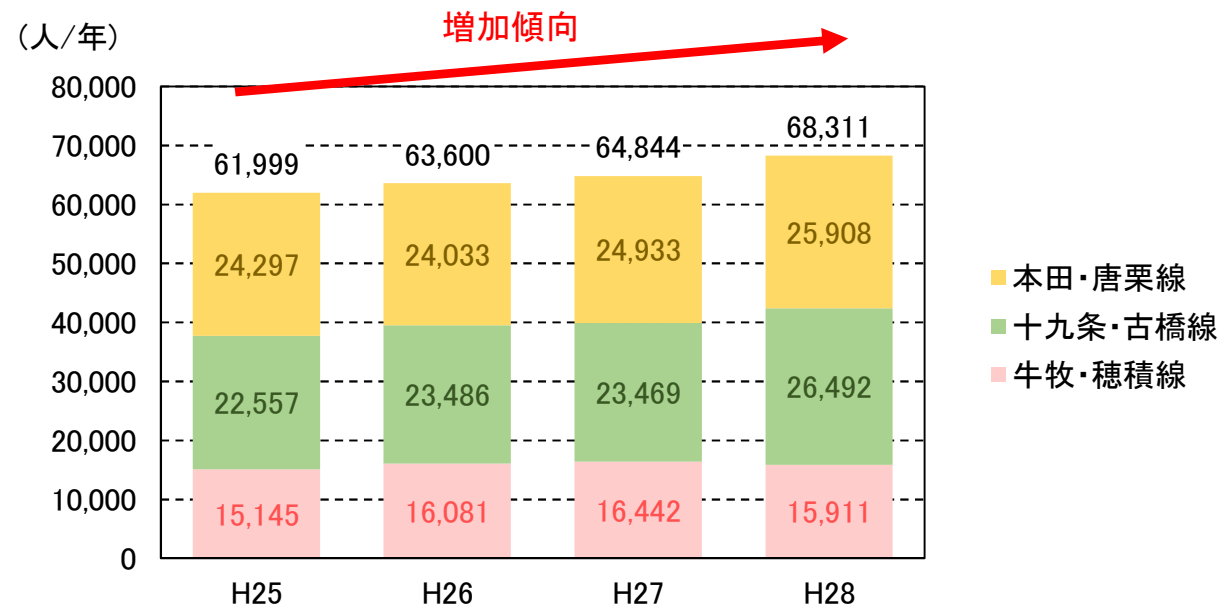
「みずほバス」の見直しに向けた検討状況

・市では、交通の利便性向上を目的に、みずほバスの運行を行っています。平成25年のみずほバス再編から4年が経過した現在、利用者は毎年増加していますが、地域状況の変化や利用者等からの要望に対応するため、昨年度実施した「公共交通に係る住民アンケート調査」及び「みずほバス利用者ヒアリング調査」の結果等を基に、より利用しやすい公共交通への見直しを検討しています。

1) 路線概要

路線名	所要時間	運行日	運行本数	運行時間帯
本田・唐栗線	47分	平日	9本	6～19時台
		土日祝	8本	8～19時台
十九条・古橋線	45分	平日	9本	6～19時台
		土日祝	8本	8～19時台
牛牧・穂積線	39分	平日	10本	6～19時台
		土日祝	9本	7～19時台

2) 年間利用者数の推移

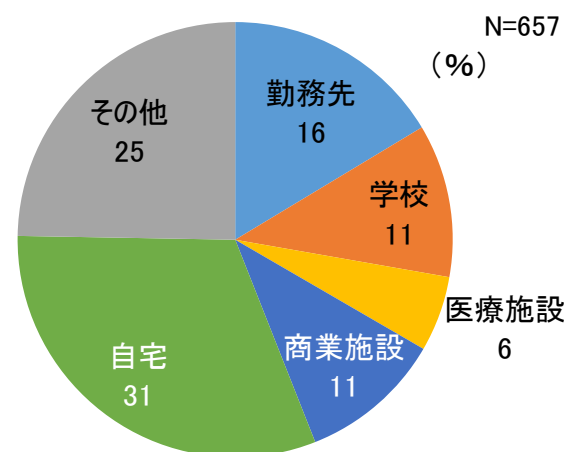


3) みずほバス利用者ヒアリング調査の結果

調査期間 H28.9.26～H28.10.2

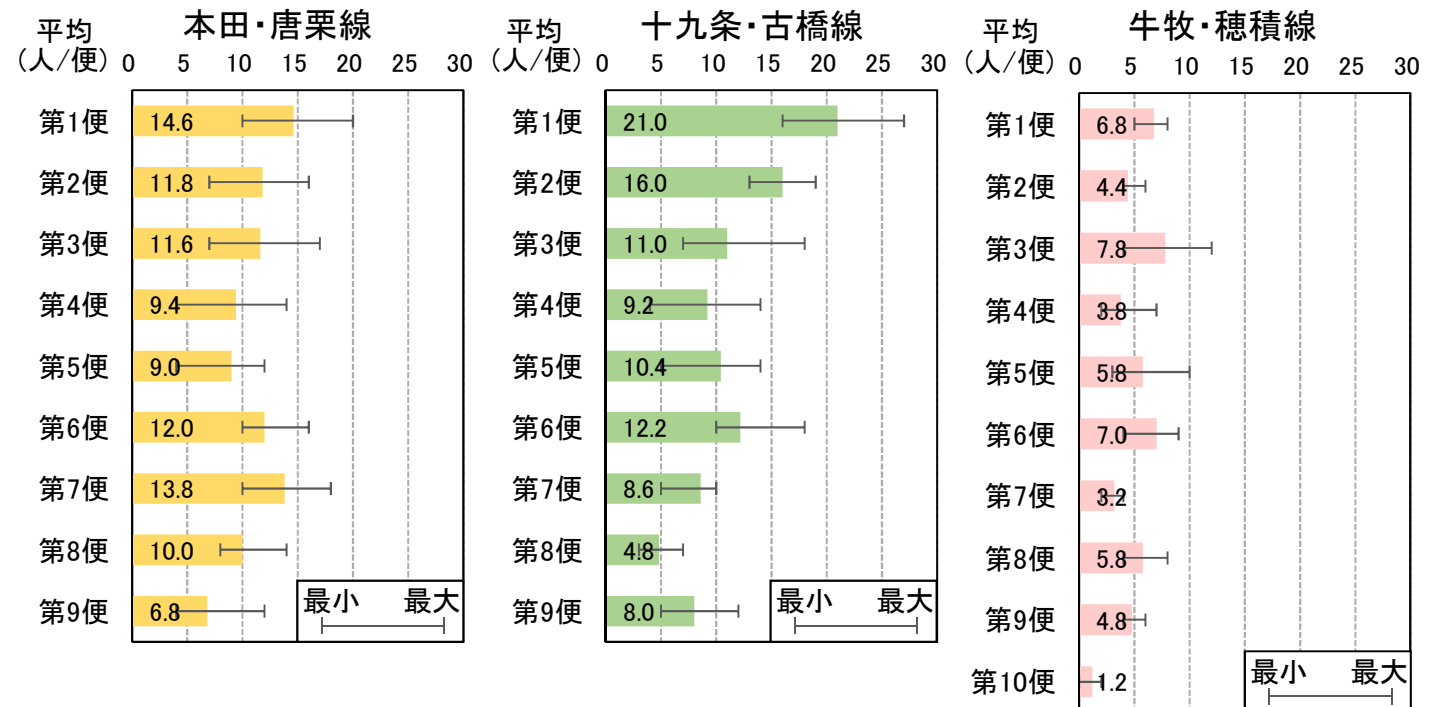
目的地

・みずほバス利用者の目的地は、自宅を除くと勤務先・学校が多く、通勤・通学での利用で比較的多く利用されています。



便別利用者数 (平日)

・一部の路線で座席数(14人)を超える利用者数の便があります。



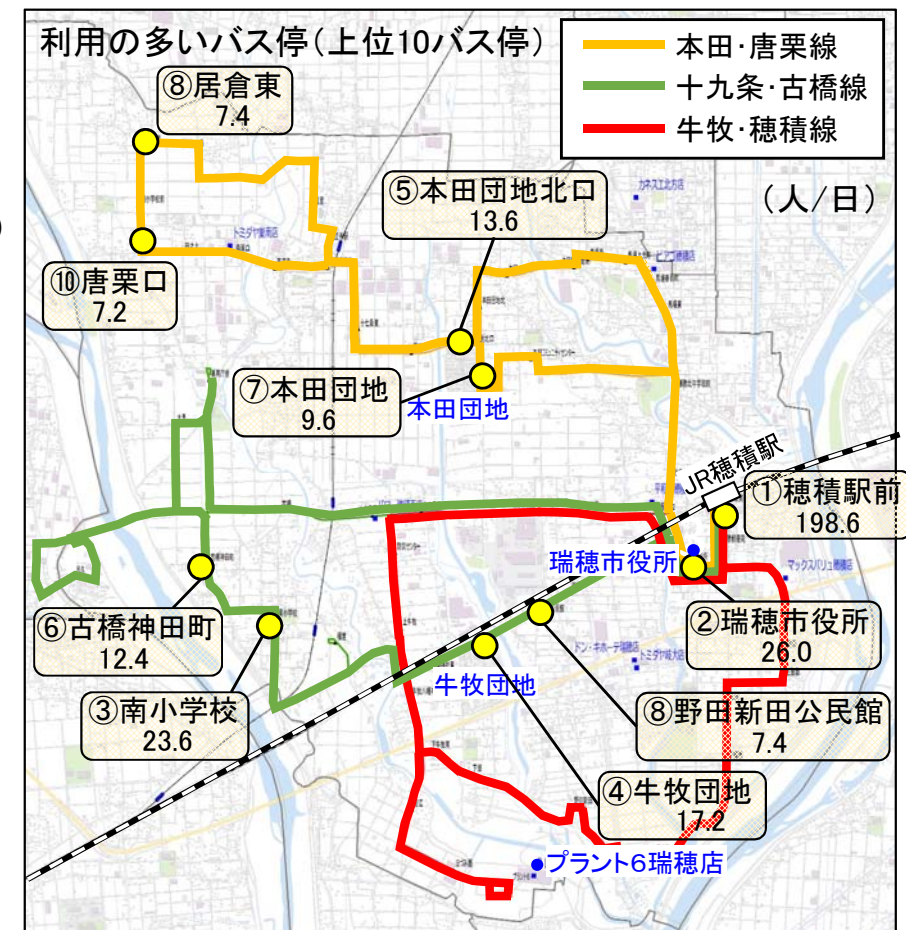
バス停別利用者数 (平日)

・穂積駅前の利用者が最も多く、利用者の約8割が穂積駅で乗降しています。

・南小学校、本田団地、牛牧団地など、住宅街や団地周辺のバス停が比較的多く利用されています。

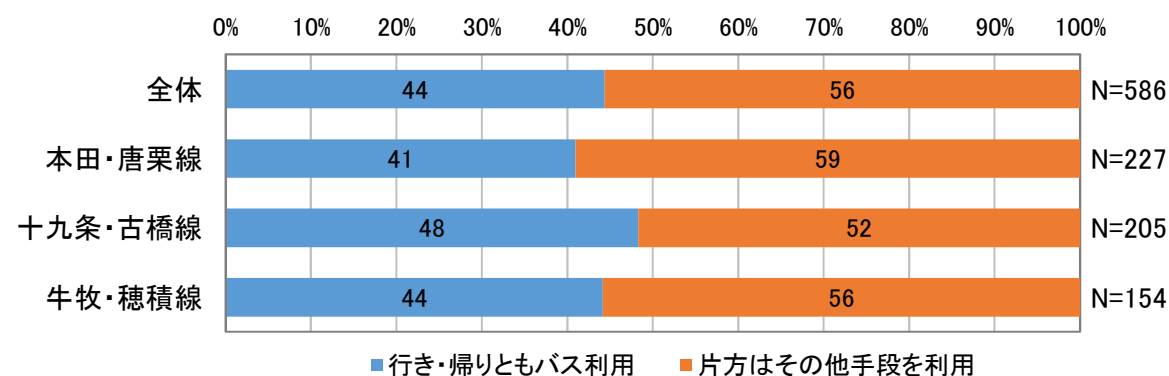
利用の多いバス停(上位10バス停)

順位	バス停名	利用者数 (人/日)
1	穂積駅前	198.6
2	瑞穂市役所	26.0
3	南小学校	23.6
4	牛牧団地	17.2
5	本田団地北口	13.6
6	古橋神田町	12.4
7	本田団地	9.6
8	野田新田公民館	7.4
8	居倉東	7.4
10	唐栗口	7.2



行き・帰りのバス利用

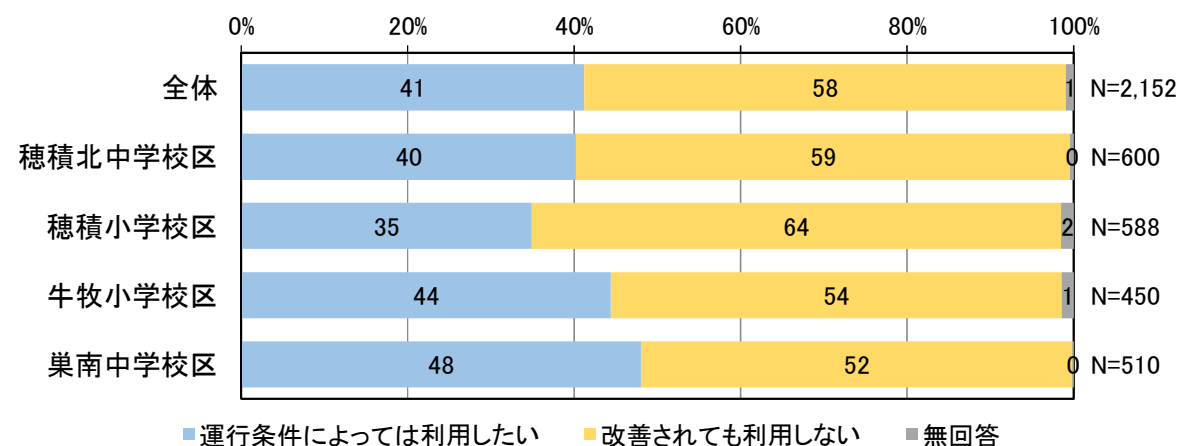
- ・行き・帰りともにバスを利用している人は4割程度で、半数以上の方が行き、または帰りのみバスを利用しています。



4) 公共交通に係る住民アンケート調査の結果

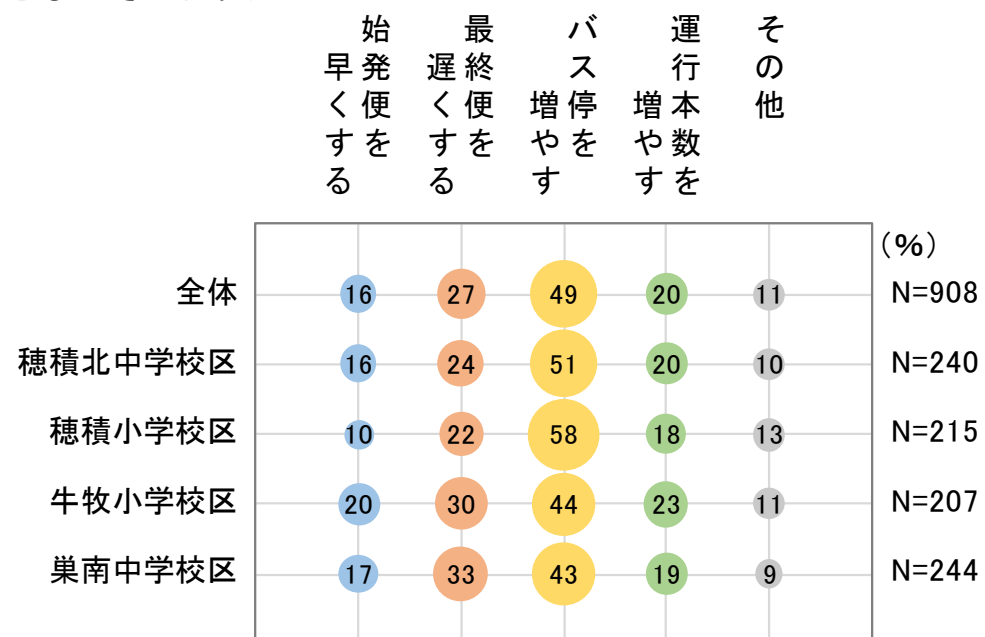
みずほバスの利用意向

- ・みずほバスを利用していない人のうち、約4割が「運行条件によっては利用したい」と回答しています。



利用するための条件

- ・利用するための条件は、「バス停を増やす」が最も多く、次いで「最終便を遅くする」となっています。



5) みずほバスの見直し

以上の結果から、みずほバスの見直しの方向性を下記のように検討しています。

方向性

- ・公共交通カバーエリアを増やすために、**バス停を増設**します。
- ・バス停の増設や運行エリアの拡大に伴い、現行の3路線から4路線へ、**路線を増やし**ます。
- ・現行では穂積駅前18時台発の便が最終便ですが、通勤・通学等の帰宅時にも利用しやすくするため、**夜間に増便**します。(穂積駅前20時台発)

今後のスケジュール

11月に運行ルートや時刻表の案について意見募集（パブリックコメント）を実施し、いただいたご意見などを踏まえて検討を進めます。以降を各種手続きと周知の期間とし、平成30年4月に再編実施を予定しています。

平成29年10月	「みずほバス」の見直しに向けた検討状況のお知らせ(広報みずほ10月号) 第1回瑞穂市地域公共交通会議 (本日)
11月	路線再編案に対するパブリックコメント (約1ヶ月間)
12月	
平成30年 1月	パブリックコメントに対する回答 第2回瑞穂市地域公共交通会議
2月	
3月	路線再編の周知 (広報みずほ3月号・ホームページ・車内掲示等)
4月	路線再編実施